

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公表番号】特表2007-537174(P2007-537174A)

【公表日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2007-511963(P2007-511963)

【国際特許分類】

C 07 C 51/41 (2006.01)

C 07 C 55/07 (2006.01)

C 07 C 51/44 (2006.01)

【F I】

C 07 C 51/41

C 07 C 55/07

C 07 C 51/44

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年10月3日(2011.10.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

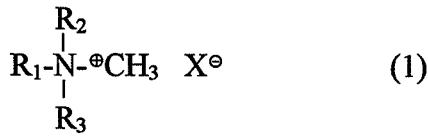
式(2)

【化1】



で表されるアミンをジメチルカルボネートと反応させ、そしてさらにその中間生成物をシユウ酸またはシユウ酸二水和物と反応させることにより、式(1)

【化2】



で表される第四級シユウ酸アンモニウムまたは第四級シユウ酸水素アンモニウムを製造する方法であって、

式中、

【化3】

X \ominus

が、

【化4】

$\frac{1}{2} C_2O_4^{2\ominus}$ または $HC_2O_4^\ominus$

であり、

R₁が、8～22個の炭素原子を有し、かつ飽和されているか、または1、2または3個のC=C二重結合を含むことができる直鎖または分岐の脂肪族炭化水素ラジカルであり、

R₂が、CH₃、C₂H₅、C₃H₇、C₄H₉またはR₁について定義された意味であ

り、そして

R_3 が、 C_3H_3 、 C_2H_5 、 C_3H_7 、 C_4H_9 であり、

また、式(2)のアミンとジメチルカルボネットとの反応が、閉鎖系の反応容器中で調節された加圧下で行われ、そして単離されているかまたは単離されていない中間生成物とシュウ酸またはシュウ酸二水和物とのさらなる反応が溶剤中において実施される、前記の製造方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項5】

シュウ酸またはシュウ酸二水和物が、水溶液として、式(2)のアミンとジメチルカルボネットとの反応から得られた単離されているかまたは単離されていない中間生成物中に、泡が形成しないように十分にゆっくりと連続的に添加される、請求項1～4のいずれか1つに記載の方法。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

であり、

R_1 が、8～22個の炭素原子を有し、かつ飽和されているか、または1、2または3個の $C=C$ 二重結合を含むことができる直鎖または分岐の脂肪族炭化水素ラジカルであり、

R_2 が、 C_3H_3 、 C_2H_5 、 C_3H_7 、 C_4H_9 または R_1 について定義された意味であり、そして

R_3 が、H、 C_3H_3 、 C_2H_5 、 C_3H_7 、 C_4H_9 であり、

また、式(2)のアミンとジメチルカルボネットとの反応が、閉鎖系の反応容器中で調節された加圧下で行われ、そして単離されているかまたは単離されていない中間生成物とシュウ酸またはシュウ酸二水和物とのさらなる反応が溶剤中において実施される、前記の製造方法を提供する。